

# 大泉桜学園 教育の重点

9年間を見据えた教育活動を「命の教育」を根幹に置き、社会を担う児童・生徒の自覚と自立の精神を育成します。

異年齢集団の交流と学び合いを生かした教育活動を推進します。

複数学年が交流する飯盒炊爨・総合学習等を実施し学園生活に活力を与えます。

運動会・桜祭(文化的行事)の新しい発表形態を立案し実施します。

豊かな情操と礼儀や節度ある態度を育む儀式的行事(卒業式等)を研究し実施します。

「その日の授業で分からないことはその日のうちに分かるまで教える学校」を目指します。

言語能力の向上、英語教育の充実、算数・数学の基礎基本の習得を徹底します。

少人数指導の充実(算数・数学・外国語)を図ります。

第5・6学年は50分授業と一部教科担任制(社会・理科)を推進します。

個別学習室を活用した補充学習やソフト教材を採用し個に応じた指導を展開します。

第1～9学年の9年間を通じた英語によるコミュニケーション活動を充実します。

児童・生徒の健全育成と家庭・地域との連携強化を目指します。

全学年に標準服を導入し、自分の学校に対する誇りや愛校心、優しさや礼儀や秩序を向上させます。

学校応援団・青少年育成委員会・青少年委員等家庭や地域との9年間を見通した連携を強化して健全育成に努めます。

第5・6学年から参加を可能とした部活動を充実させ児童・生徒の人間関係を豊かなものにします。

しつけや礼儀などあるべき子供の姿を明確にし、家庭教育との連携を深めます。

体験を重視した活動を通して我が国の伝統・文化の理解を深め尊重する態度を育てます。

学校田「大泉桜の里」を活用して稲作体験や農家の方と交流を行い、伝統と文化の理解を深めます。

昔の遊びや墨絵・生け花・茶道・能・狂言・伝統工芸・民族舞踊・和楽器などの体験活動を系統的に位置付けて充実させます。

いろはかるた・百人一首等を中心とした伝統的な言葉の獲得を重視した言語活動を充実します。



第1学年・第7学年入学式 第5～7学年飯盒炊爨 少人数指導(英語) 室町文化体験(墨絵) 百人一首大会 ふれあい給食(ランチルーム)



4月 始業式

4月 着任式・部活紹介 修学旅行(九年) 文科省学力テスト(六・九年) たてわり遠足(一～四年)	5月 飯盒炊爨(五～七年) 自転車安全教室(七～九年) 児童・生徒総会	6月 道徳授業地区公開講座 田植え(五年) 新体力テスト 進路説明会(九年)	7月～8月 下田移動教室(六年) セーフティ教室 個人面談 職場体験(八年)	9月 学校公開・学校説明会 児童・生徒会役員選挙 水泳指導終着衣泳(六年)	10月 桜祭 一学期終業式・二学期始業式 稲刈り(五年) 連合音楽会(七年) 連合陸上大会(七～九年代表)	11月 上野校外学習(七年) 生活科見学(一・二年) 中間考査(七～九年)	12月 和太鼓・民舞体験 個人面談(五日間)	1月 校内書初め展・作品展 社会科見学(三年)	2月 社会科見学(五年) 作品展・新入生保護者説明会	3月 卒業式(六・九年) 百人一首大会 学年末考査(五～九年)	修了式 プレ七年生登校(六年)
--	--	--	--	--	--	--	------------------------------	-------------------------------	----------------------------------	--	--------------------



大泉特別支援学校との交流

望ましい勤労観・職業観を育成するとともに、自分の生き方を考えさせます。

「大泉桜の里」における農業体験を生かし収穫や労働の大切さを理解させるとともに、環境教育・食育・キャリア教育を充実します。

地域の教育力を生かした職場体験や大泉特別支援学校との交流を促進していきます。



第5学年大泉桜の里で田植え・稲刈り

練馬区初の小中一貫教育校にふさわしい特色ある学校づくりを目指した環境整備に努めます。

「始めに子供ありき」の視点に立ち、分かりやすい授業実現のために教育環境の整備と活用に積極的に取り組みます。

今までの既成概念にとらわれない新しい学校の環境作りに努めます。

小中一貫教育に関する校内研究の推進と一貫教育9年間にふさわしいカリキュラム開発に取り組みます。

小中一貫教育校の学校運営に関する研究を行い随時情報発信します。

小中一貫教育9年間にふさわしいカリキュラムを開発し、研究授業を通して実証します。

# 大泉桜学園 組織図

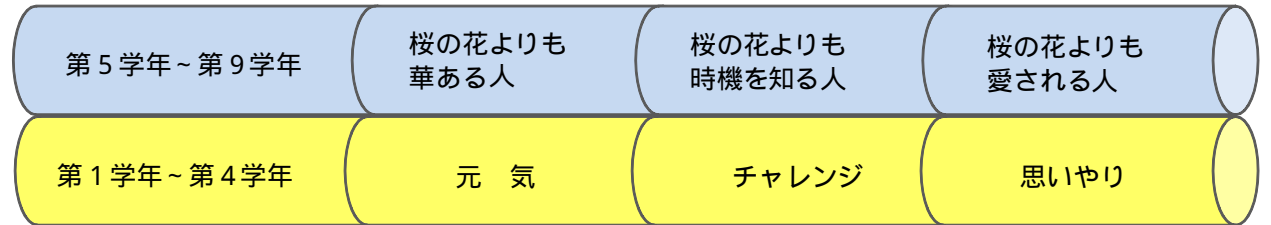


## 教育目標

おう がく せい しん  
**桜学精神**

知・徳・体の調和のとれた児童・生徒の育成を目指し教育目標を「桜学精神」と決めました。桜は、人々に愛され親しまれ、その四季の移ろいの風情は、勇気と希望とうるおいをもたらしてきました。桜から学ぶとは、森羅万象の偉大さを桜という樹木を通して謙虚に学び、自らを成長させる心構えと実践力を養うことを言います。

・教育目標を実現するための三つの指針



- ・第1に、華ある人とは、自分の良さを発揮して他の人と共に幸せに生きようと心がけることで成し得ることができ、元気であることが基本となります。
- ・第2に、満開の桜の花は美しく、咲く時機(チャンスとタイミング)を心得ているかのようです。また、木枯らし吹く寒さの頃に、既に花のつぼみはあります。苦難の時を越え、新たな大地を開拓するようなチャレンジの大切さを言います。
- ・第3に、桜の木の存在は人々に潤いと癒しをもたらしてくれます。自分の命の役割を自覚し自らの存在を大切にしていける児童・生徒は、周囲の人々に対しても思いやりの姿勢を示せるものです。

## 本校の沿革(略)

- |              |  |
|--------------|--|
| 平成23年 4月 1日  | 練馬区立小中一貫教育校大泉桜学園開校   |
| 平成23年 4月 1日  | 初代校長 木下川 肇 着任  |
| 平成23年 4月 6日  | 開校式・始業式(第2学年73人、第3学年65人、第4学年79人、第5学年77人、第6学年68人、第8学年48人、第9学年46人) |
| 平成23年 4月 7日  | 第1回入学式(第1学年62人、第7学年78人)  |
| 平成23年 9月     | ランチルーム、東多目的室、多目的作業室、小多目的室、面談室、教材室改修                              |
| 平成23年10月 1日  | 第1回運動会   |
| 平成23年11月 5日  | 開校記念式典   |
| 平成24年 2月     | 学習発表会(作品展)   |
| 平成24年 3月 8日  | 第1回桜祭(和光市民文化センターサンアゼリアホール)                                       |
| 平成24年 3月 19日 | 第1回卒業式(第6学年67人、第9学年46人)  |
| 平成24年 4月 5日  | 開校記念日時計設置・除幕式  |
| 平成24年 4月 9日  | 第2回入学式(第1学年61人、第7学年70人)  |
| 平成24年 5月 26日 | 第2回運動会   |
| 平成24年10月 23日 | 第2回桜祭  |
| 平成25年 1月     | 学習発表会(作品展)   |
| 平成25年 2月 8日  | 練馬区教育委員会教育課題研究指定校研究発表会   |
| 平成25年 3月 19日 | 第2回卒業式(第6学年77人、第9学年50人)  |
| 平成25年 4月 9日  | 第3回入学式(第1学年74人、第7学年84人)  |



開校式



運動会組体操